

平成14年度 福島県優良建設工事表彰

部門	工事箇所	事業・地区名/工事概要/会社名
水路部門		<p>ため池等整備事業(緊急防災) 新夜の森地区(双葉郡富岡町) 排水路工 L=87.8m 桂建設株式会社 代表取締役社長 井上篤</p> <p>本工事は、農地の湛水被害及び宅地、道路等の溢水被害を防止するための排水路工事である。国道、県道に隣接する大型フリーム水路、コンクリート構造物工事で、施工管理や安全管理に配慮し、出来栄や品質は非常に優秀である。</p>
農道部門		<p>農林漁業用揮発油税財源身替農道整備事業 沢先2期地区(双葉郡浪江町) 道路工 L=280m 東北土木株式会社 代表取締役 鈴木充</p> <p>阿武隈山系の山間部を走る農道改良工事。カーブが多く、縦断勾配もきつい1車線の農道工事である。現場は転石を多く含んだ不均一な土質条件など施工条件が厳しいにもかかわらず、安全に配慮し、適切な工程管理が行われ、出来栄え、品質とも優良である。さらに土捨場も近傍地を施工者自ら選定するなどコスト縮減にも努めた。</p>
道路舗装部門		<p>広域営農団地農道整備事業 阿武隈東部2期地区(伊達郡川俣町) 農道舗装工 L=1,256m 安齋土木株式会社 取締役社長 安齋信</p> <p>本工事は山間部にある農道で、カーブが続いたり、縦断勾配がきつい区間の舗装工事であるが、施工管理や安全管理に細心の注意を払って施工し、出来映えは優秀である。また、再生アスファルトを使用するなどコスト縮減にも配慮した設計に対応した施工をしている。</p>

ほ場整備部門		<p>ほ場整備事業(担い手育成型) 八丁目地区(郡山市) 区画整理工 A=11.8ha 株式会社安藤組 代表取締役 安藤司</p> <p>阿武隈川と市道間の低地のほ場整備工事。埋蔵文化財調査や事前転作の飼料用稲の収穫後の本格施工のため、厳密な工程管理が必要であった。また、地形勾配が穏やかで未整備の複雑な地形のため、整地・均平作業や水路装工に高度な技術と厳密な施工管理が要求されたが、整地工、道路工、水路工、いずれの工種の出来栄も優秀で、他の模範と評価できる。</p>
ほ場整備部門		<p>ほ場整備事業(担い手育成型) 戸屋南地区(田村郡都路村) 区画整理工 A=9.2ha 渡辺工業株式会社 代表取締役 渡辺静子</p> <p>河川に向かって傾斜する砂礫質基盤のほ場整備工事。地下水位も高く湧水も認められたが、自主的に対策工法を立案し克服している。急勾配の地形にもかかわらず、基盤整地、道路・水路の出来栄も優秀である。さらに幹線用水路の一部には、地元有識者と打合せて、虫が息できるよう、生態系に配慮して施工されており、これからのほ場整備事業の模範となる工事である。</p>
農地防災部門		<p>広域農業用水適正管理対策事業 会津北部地区(耶麻郡熱塩加納村) 床止工・旧堰撤去 N=1 式 有限会社原工業 代表取締役 原満</p> <p>国営事業実施による堰撤去工事である。厳冬期の工事であったにもかかわらず、綿密な施工計画をたて工事を完成させた。請負者は工事施工にあたり、景観、環境、生態系に配慮した工法を積極的に提案している。また、木工沈床に県産材の利用や詰石に現場発生材を利用するなどし、地産地消やコスト縮減を図った。</p>

<p>溪 間 部 門</p>		<p>山地治山事業(復旧治山) 坊主田地区(相馬市) 谷止工 N=3 基 山腹工 A=0.14ha 草野建設株式会社 取締役社長 草野清貴</p> <p>当地区は、工事用の仮設道の確保が困難で、土質も不良な施工状況のなかで、綿密な施工計画のもと、安全管理を図りながら施工管理・品質管理を行い3基の谷止工と山腹工を施工した。特に、コンクリート構造物の出来栄は優秀であり、周辺の立木を傷つけないよう環境に配慮しながら施工した。</p>
<p>山 腹 部 門</p>		<p>山地治山事業(予防治山) 名下地区(東白川郡鮫川村) 山腹工 A=0.17ha 藤田建設工業株式会社 代表取締役 皆川末男</p> <p>当地区は、複雑な傾斜のマサ土の山腹崩壊地で、しかも地盤が脆弱で不安定な土質に関わらず、丁寧かつ迅速な施工により工事を完成させた。特に、間伐材丸太を使用した工法は、地山へのすり付け等の細かい配慮がみられ、地盤不良箇所における鋼製自在枠については、石詰が綺麗に仕上がっており、全体的な出来栄は、特に優秀である。</p>
<p>林 道 部 門</p>		<p>林業地域総合整備事業 戸渡藤沼地区(岩瀬郡長沼町) 自動車道 L=342.4m 株式会社赤羽組 代表取締役 赤羽隆</p> <p>本工事は、起伏の激しい難地で、カーブも多く、浸食の著しいマサ土の高切土の連続にもかかわらず、土砂の飛散・逸散の減少に努め、路床・路盤の締め固めも入念に施工され、工事を完成させた。また、現場発生根株を炭化させた炭を、湧水箇所の暗渠排水材に利用するなど、自然循環利用がなされ、現場周辺の整理も良く、その出来栄はきわめて優秀である。</p>

林道部門		<p>ふるさと林道緊急整備事業 田人地区(いわき市) 自動車道 L=533.5m 橋梁工 N=1 基(PC) 株式会社丸星建設 代表取締役 星喜晴</p> <p>地区は、県道取付部の橋梁などの通行を確保しながらの工事で、綿密な施工管理のもと、安全対策に細心の注意をはらい工事が進められた。特に、丸太水路工・橋梁高欄・土砂捌け等に地元産の木材や石材を取り入れるなど「地産地消」を積極的に推進した工事であり、その出来栄は品質ともに優秀である。</p>
特殊構造物部門		<p>ふるさと農道緊急整備事業 白沢地区(南会津郡伊南村) 橋梁上部架設工 N=1 式 東開工業株式会社 代表取締役 三浦津紀夫 協三工業株式会社 代表取締役 加藤守</p> <p>一級河川にかかる4径間連続非合成鋼桁橋の上部架設工事である。縦断勾配が変化するカーブ橋で困難な工事であったが、豊富な経験と技術力での確な施工をした。また、夏場、鮎釣りで賑わう河川であり、かつ降雪が早い現場であるため、工期の制限や周辺環境への配慮を必要とした施工であったが、出来映えは非常に優秀である。</p>
特殊構造物部門		<p>中山間地域総合整備事業(一般型) 川前地区(いわき市) 配水池設備工 N=1 式 送水管 L=318.05m 配水管 L=319.75m 株式会社宇佐見建設 代表取締役 宇佐見鐵雄</p> <p>学校敷地に管路を埋設し、裏山に配水池を設置する工事であるため、児童・生徒に対して十分な安全対策を図りながら、急傾斜地での確な工事を実施した。コンクリート構造物の出来映えは優秀である。また、舗装復旧には再生材を使用し、コスト縮減を考慮している。</p>